

ま え が き

「信州大学環境科学論集 第8号」が出版される時期になり、各位の御協力により16篇の論文が掲載されました。論集の内容も基礎から応用まで多岐にわたり、地域環境の評価と管理計画に対して多くの指針を与えるものばかりであります。

信州大学環境問題研究教育懇談会も発足して8年、会員も80名を越えました。文部省特定研究の補助を受けてのユニークな学際的研究もいよいよ軌道にのり、ますます独創的な研究が展開されて来ております。またこの研究の成果に対する学内外での評価も高く、本研究チームが信州のみならず我国の環境科学の発展に対して先駆的な役割を果しているものと思います。

本年度から3年間は、「信州の環境保全と地域計画」というテーマで研究に取り組むことになりました。従来の研究の成果をふまえて、さらに応用的な展開が期待されるところであります。

人類が地球上に住んでいる限りいろいろな環境問題が出てくることでしょう。したがって、本懇談会のメンバーによる研究が今後さらに地道に続けられ、その都度その成果を論集として継続して発刊されることに本懇談会の大きな意義があるものと思います。

本年度から懇談会の御世話役を順番で私が引受け致すことになりましたがどうかよろしく御指導下さいませ御願ひ申し上げます。

なお、特定研究は本懇談会が母体でありますので本来ならば研究組織に全員の方の御名前を載せるべきであります。が、会員数が多いために研究分野別に一部の先生方だけをあげさせて頂きましたことを御了承下さい。

懇談会総会は来年度にシンポジウム形式で環境問題に関する討論会として行う予定にしておりますので、その節には是非御参集下さる様御願ひ致します。

昭和61年3月

信州大学環境問題研究教育懇談会

世話人 森 本 尚 武